

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和4年4月30日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		法令の基準以上の広さを確保しておりますが、コロナが収束しましたら他の部屋を有効活用する予定です。現時点では密にならないようできる限りスペースを広く取り机の位置などを工夫している段階です。	適切ではありませんが、コロナの関係上別室で個別対応するケースもあり、居室の使い方に課題があります。常に環境整備に心掛け、机の位置など、室内のレイアウトを工夫してまいります。
	2	○		配置基準は満たしていると同時に、利用児童に合わせた職員を配置しており、適切です。その時々に応じて職員同士で連携しております。	送迎に人員が割かれて療育するスタッフの数が足りないと感じることがありますが、その時々に応じて職員同士で連携して対応し、今後も目が行き届くよう配慮してまいります。
	3	○		現在バリアフリーを必要とする利用児童は居ませんが、段差等があるため、職員が付き添い、安全に配慮しながら支援を行っております。	当事業所は戸建ての建物であり、完全なバリアフリーは難しいですが、今後も適切な人員を配置し、支援が必要な利用児童に合わせて職員が安全に配慮しながら支援を行ってまいります。
業務改善	4	○		朝会等を活用し、児童の支援に限らず、業務改善についても話し合いを持ってまいります。	今後も会議を継続し、様々な意見交換を行う場として設けてまいります。
	5	○		保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	保護者様の貴重なご意見を真摯に受け止め、今後も改善に努めてまいります。
	6	○		この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	今後も、毎年 Web 上で自己評価表の公開をおこなってまいります。
	7	○		第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	第三者からの評価受審については今後の検討課題と致します。
適切な支援の提供	8	○		各事業所、グループ全体で研修を設けていますが、今年はコロナ禍のため、研修は行えず、COMPASS 作成の動画研修を視聴し、職員の資質向上を図っています。	更なるスキルアップを目指して、より専門的な研修の機会を増やしてほしいという意見もあり、研修の機会を確保し、職員の資質向上を図っております。
	9	○		利用開始前にアセスメントを行い、課題を把握し、計画につなげています。また、定期的な個別面談を行い、利用児童の状況把握、保護者様のニーズを把握するよう努めています。	今後も児童の状況や保護者様のご意見を考慮して適切に作成してまいります。
	10	○		全事業所で統一したアセスメントシートを使用しております。	必要に応じて、アセスメントの項目は変更してまいります。
	11	○		朝会やリフレクシオン会議などで、全職員案を出し合い、分担・協力して行っております。	OT,PT の先生ともより連携が取れるように努めています。療育の内容で職員間で話し合いながら進めています。今後も役割分担を考慮し職員一同で支援できるよう努めてまいります。
	12	○		個別の療育以外にも、集団での活動など、児童の状況を見ながら、職員で話し合い、療育内容に趣向を凝らしています。	今後も固定のプログラムではなく、保護者に聞き取りを定期的に行い、支援してまいります。
	13	○		平日、学校休業日では児童の利用時間に变化があるため、対応できるように調整しています。都度、職員間で話し合い、その利用児童に合った課題を個々に決めていきます。	朝会等で共有し、職員同士話し合い、支援計画をもとに課題を設定しております。
	14	○		個別対応をしながら季節の製作などを取り入れております。	コロナ禍ということもあり、集団活動が困難な状態ですが、今後は工夫して検討していきたいと思っております。
	15	○		朝会にて職員配置や役割分担の打ち合わせを必ず実施し、共通の認識をもって支援にあたるよう、情報共有を図っています。	今後も打ち合わせ、支援内容や役割分担についての確認や情報共有を行ってまいります。
	16	○		朝会ノートを作成し、職員各自の公休時の伝達に使用しております。終了後は掃除などの雑務があり難しかったため、翌日の朝会で実施しております。	今後も振り返りや気づいた点の情報共有に努めてまいります。
17	○		療育の内容や気づいた点、その日の体調、生活状況の変化等を経過記録に記録するとともに、支援の検証と改善につなげております。	今後も日々の記録を行い、支援の検証、改善につなげられるよう努めてまいります。	
18	○		定期的な個別支援会議やモニタリングを実施し、保護者様の要望と児童の状況を把握して支援計画の見直しを行っております。	今後も定期的なモニタリングと計画見直しを行ってまいります。	
19	○		ガイドラインの各項目を盛り込み、具体的に支援内容を設定しています。また、個々の支援内容に沿って具体的に設定し、わかりやすく具体的な支援内容を設定しております。	今後もガイドラインを踏まえ、支援の状況が適切であるかどうかを勘案し、利用児童や保護者様と向き合ってご理解いただけるよう支援内容の設定に努めてまいります。	
関係機関や保護者との連携	20	○		相談支援事業所が機能していないので児童発達センターに事業所内で話し合っております。	相談支援事業所を介さずに保護者様が立てられたセルフプランで来られるため、児童発達センターに事業所内で話し合い、情報共有は徹底しております。
	21	○		下校時間は保護者様経由でお手紙のコピーをいただき、適切に調整しております。また、急な変更については速やかに対応できるよう心掛け、学校とは関係機関連携にて適宜、話し合いの場を設けております。	今後も継続して、学校やご家庭と密に連絡を取り合い、送迎にずれが生じることがないように、連絡調整に努めてまいります。
	22	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	○		受け入れ前に利用児童が通っていた園や関係機関等との間では情報共有と相互理解を行い、利用児童の状況を把握できるよう努めております。	保護者様に確認の上、積極的に情報共有と相互理解に努めてまいります。
	24	○		現在までに対象者はいませんが、今後、該当する児童が卒業する場合、移行した事業所等に情報提供してまいります。	今後、卒業を迎える児童の保護者様からのご相談があった場合には、移行先、関係機関への情報提供や連携に努め、移行先での活動に役立てていただきたいと思います。
	25	○		今年度はコロナ禍のため出向いの研修の受講や相談などには至っておりません。電話連絡などでできる限り連携を図っております。	コロナ収束後は、研修に参加したり助言を求めるなど、さらに積極的に関わってまいります。
	26	○		コロナ禍のため、現時点では実施できておりません。	現在コロナ禍でもあり、プライバシー保護の観点から実施できておりません。収束後は活動機会を検討してまいります。
	27	○		協議会の相談支援センターより働きかけがなく、コロナ禍でもあり、機会がありません。	地域の協議会や部会などが機能していないことありますが、事業所内での情報共有、提案、討議は徹底しております。
	28	○		送迎時などにご家庭での様子をお伝えするとともに達成できた事項や課題についての情報共有を行っております。また保護者様や利用児童に寄り添うことを心掛け、共通理解を図っております。	今後も積極的に保護者様と情報共有を行い、共通理解に努めてまいります。
29	○		保護者様の悩みや状況に配慮しながら、その都度の確かなアドバイスができるよう努めております。	今後も保護者様のニーズにこたえられるよう、寄り添った支援を心掛けてまいります。	
保護者への説明責任等	30	○		見学时、契約時に丁寧に行っております。	今後もわかりやすく、丁寧な説明に努めてまいります。
	31	○		連絡帳や電話、送迎時などに保護者様からのご相談を受けていますが、その都度、迅速丁寧な対応を心掛け、保護者様に寄り添いながら、状況を踏まえた適切な助言や支援を行っております。	今後も保護者様に寄り添いながら適切な助言、支援が行えるよう努めてまいります。
	32	○		過去には開催しておりましたが、今年度はコロナ禍で難しい状況です。事態の収束がみられ次第に開催を予定いたしております。	コロナ禍で現在開催は難しいですが、現状で見れば、オンラインでの交流会についても検討してまいります。
	33	○		保護者様からの苦情はいつでも対応できる態勢は整えています。保護者様からのお申し出の内容は、迅速な対応を心がけ、職員間で共有し、話し合い、その結果も周知しています。	解決に向け職員で話し合い、上席にも報告を入れ、最適な対応をするように心がけています。
	34	○		季節ごとに COMPASS だよりを発行し、公式 Web サイトでは最新情報のほか、事業所の活動が毎日ブログで紹介されています。	今後も情報発信を継続し、保護者様に利用児童の様子や活動を知っていただけるよう努めてまいります。
	35	○		個人情報取り扱いに慎重に行い、書類は施錠できる場所に保管しております。また、利用児童の写真掲載は書面にて保護者様の同意を得た上で、掲載しております。	今後も引き続き個人情報の取り扱いについては、細心の注意を払ってまいります。
	36	○		それぞれの特性に応じて、口頭だけでなく、書面や提示物等のできる限りの手段を活用して、情報伝達に配慮しています。	今後も一つの方法にこだわらず改善を重ね、意思疎通・情報伝達がより正確にしっかりと伝わるように手段を増やしていくよう配慮してまいります。
	37	○		現時点ではコロナ禍のため、企画に至っておりません。	保護者様によっては通所を秘匿されたい方もおられるため、コロナ収束後、充分なお慮のもとで検討し実施してまいります。
	38	○		各種マニュアルを策定し、見やすい場所に掲示を行っております。感染症対応については、流行時期に合わせた対応法でのシュレーションを行ったり、防災訓練については、定期的に様々な状況を想定した訓練を実施しています。	今後も継続し、同様に行っていきます。
非常時の対応	39	○		定期的な地震・火災等を想定した訓練を実施しています。	現在はコロナが禍であり、施設内で、今後は行政の協力を得ながら、屋外での訓練を実施してまいります。
	40	○		児童発達管理責任者や運営管理責任者が研修に参加し、その内容を職員に情報共有し、虐待防止マニュアルに沿った社員研修を実施しています。	今後も継続的な研修によって虐待について知識を高め、全職員で意識を高め、認識の一致を図ってまいります。
	41	○		利用契約書では身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行わなければならない場合は保護者様の了解を得ております。そのうえで、個別支援計画に記載しています。	今後、身体拘束の可能性のある利用児童の受け入れについては体制を整え、十分な事前説明と保護者への同意を得て支援計画に記載するよう努めてまいります。
	42	○		アセスメント時にアレルギー調査について話をさせていたが、全職員で情報共有し、対応しております。	医師の指示書をいただくような重大なアレルギーの利用児童の在籍はありませんが、今後も保護者様や職員と情報提供し細心の注意を払って対応してまいります。
	43	○		ヒヤリハット報告書の作成、保管を行い、職員で話し合い、再発防止に努めております。	引き続き記録し、話し合いを継続し、再発防止に努めてまいります。

○の「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。